



# 真野中だより

<校訓> 立志力行 協力親和

真野中学校2月号 (494号)

令和5年2月28日発行

教育目標

3つの心

豊かな人間を目指し たくましく生きる生徒の育成

感謝する心

素直な心

努力する心

## 耐える冬、そして春へ

校長 中川 久雄

先月末の史上最強クラスの寒波から1か月が過ぎ、令和4年度も残り1か月となりました。立春を過ぎ暦の上では春ですが、しばらくは寒さに耐える晩冬が続きそうです。

冬といえば、西郷隆盛のこの詩をご存知でしょうか。

### 耐雪梅花麗 (雪に耐えて梅花麗し)

西郷隆盛

一貫す、唯唯の諾

(一度承諾したことは、何があろうとも最後まで貫き通さなければならない。)

従来、鉄石の肝

(それには、鉄のように固い意志が必要である。)

貧居、傑士を生じ

(貧しい暮らしが偉大な人物を生み出し、)

勲業多難に踰る

(立派な業績は、多くの困難を乗り越えてこそ生まれるのである。)

雪に耐えて梅花麗しく

(梅の花は厳しい冬の雪の中に耐えてこそ麗しく咲き、)

霜を経て楓葉丹し

(楓の葉は、幾度の冷たい霜の厳しさを凌いで赤く色づくのである。)

如し能く天意を識らば

(お前が、もし天の道理を知っているなら、)

豈敢へて自ら安きを謀らんや

(どうして安易な生き方を自ら選んだりしようか。いや、選んだりはしないはずだ。)

この詩は、西郷隆盛がアメリカに留学する甥に向けた手紙の中に記したもので、困難に負けるなど背中を押した言葉だとされています。

また、この詩は、広島東洋カープ、ロサンゼルス・ドジャース、ニューヨーク・ヤンキースで活躍した黒田博樹投手が座右の銘にしていたことでも有名になりました。黒田投手は、高校の授業でこの言葉に感銘を受けて以来、座右の銘としたそうです。

実は、黒田投手は野球の名門校に入学しましたが、ずっと控え投手で、来る日も来る日も、主にバッティング練習用のピッチャーをしていたそうです。しかし、大学進学後に頭角を現し、プロ入り後は日米通算で203勝を挙げました(「平成の怪物」と呼ばれ高校時代に甲子園で春夏連覇を成し遂げた松坂大輔投手が日米通算170勝だったことを考えると、黒田投手の凄さが分かります)。上の詩の5行目にある「梅の花は厳しい冬の雪の中に耐えてこそ麗しく咲く、つまり、苦しく耐え忍ぶ時間を経て頑張るからこそ次の季節の美しさにつながるという一節は、まさに、決してエリートとは言えない黒田投手の人生そのものを表す言葉なのではないでしょうか。

人生で壁にぶち当たっても、そこから決して目をそらさず努力を続けると、必ず得るものがあります。その全てが肥やしとなり、いずれ大きく美しい花を咲かせる時がくるのではないのでしょうか。私たち教職員一同も、この詩がもつ意味を深くかみしめ、子どもたち一人一人の個性が花開くよう全力で教育活動に取り組んでまいります。保護者・地域の皆様、関係諸機関の皆様におかれましても、より一層のご理解・ご協力・ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

## 【3年生を送る会！！】

2月22日(水)、全校生徒で3年生を送る会を行いました。これまで真野中学校をリードしてくれた3年生に感謝し、卒業をお祝いする三送会でした。新生徒会本部が中心となり、1、2年生が心を合わせた素晴らしい会となりました。ありがとうございました。



3年生入場！



2年生！3年生に送るダンス！



在校生から感謝の絵馬



1年生！学校生活の思い出寸劇！



3年生企画：じゃんけん大会



じゃんけん大会表彰



3年生のみなさん！！ 卒業おめでとう



## 【PTA総会書面決議】

保護者の皆様、第2回PTA総会【書面決議】の議案審議、大変ありがとうございました。会員の過半数以上の回答票が提出され、第1号議案から第3号議案まで全ての方から賛成をいただき可決されました。なお、以下の意見・質問がありましたので、回答いたします。

### 【意見・質問】

◎小中合同のPTAバレー大会を復活していただきたいです。親がとても楽しいというのがありますが、親同士の交流がとれて、親同士が仲が良いことで子どもたちの人間関係も良くなります。最近では交流がとれず、さみしいです。お忙しいところ申し訳ありませんが、検討をお願いします。

〔回答〕小中PTAバレー大会につきましては、6月に行われる小中PTA合同役員会で検討いたします。小中地域の交流の場については、学校だけでなく地域の皆さんとも検討していきたいと思っています。

### 【第76回卒業証書授与式】

3月3日(金)に実施いたします第76回卒業証書授与式のマスク着用につきまして、文部科学省から出されました「卒業式におけるマスクの取扱いに関する基本的な考え方について(通知)」に従い、下記のように対応させていただきたいと思っております。何卒、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

- ① 生徒及び教職員については、式典全体を通じてマスクを外すことを基本とします。
- ② ただし、国歌・校歌等の斉唱や合唱を行う場面では、マスクを着用します。
- ③ 来賓や保護者の皆様は、マスクの着用をお願いいたします。
- ④ 上記に関しては、個々の事情に応じ、マスクの着脱を極端に強いることのないようにします。
- ⑤ ①～④は、【卒業式限定】であり、令和5年3月31日までの年度内教育活動においては、従来どおり、マスクの着用を原則とします。